

成果

昭和30年頃から幾度も杉谷山畑を不動産商から買収したいと地権者に持ちかけられ一部山林畑が買収されてゆきました。

杉谷山には沢山の古墳遺跡が営まれている。私は少年時代から父に杉谷山の古墳遺跡は地域の宝物なのだと、よく聞かされていたので不動産商社に買収される杉谷山に心配でした。

こうした折、昭和48年、国立と山医科薬科大学建設の用地となりやがて杉谷古墳群は富山市教育委員会の手で埋文調査、古墳発掘が進められた。その結果、杉谷4号墳は三世紀後半に作られ、それは島根県で営まれている【四隅突出型方墳】と作られた時期と型等が類似していることが判った。

これは民族移動等含め日本海を媒介して交流発展したものであろうとの発表があり、内外大変な騒ぎであった。そうして、この発表で内外からの見学者が多くなり、遺跡古墳の周辺通路の草刈り清掃にかかわりました。小学生や地区民への案内説明等も古墳の資料を作り配布する等積極的に行い喜ばれた。これに応え小学生や住民が散策道案内板清掃に加わり文化財愛護の輪も広まるようになっている。

これからも杉谷4号墳(四隅突出墳)を始め杉谷古墳遺跡について新発見とかうずもれた伝承伝説も出て来るであろうが、ひとまず今日まで纏め得たことを風化したり忘れない内に残し引き継ぎたいとの思いが強く機会の来ることを願っております。

幸い富山県の日本海学研究グループ支援事業のことを知り前記の思考、目的を述べ応募いたしました次第です。採用の通知を頂き大変感謝いたしております。編纂した冊子の内容には、専門の大先生方の寄稿により充実されましたし、編集等では、富山市埋蔵文化センターのご指導を多大に頂きました。

文章の中に古沢小学校生徒の学習発表会で演出した劇、子供ならではの発想をそのまま記載出来てよかったと思っております。

また本冊子作成に当たり多くの伝承の発掘できた点も成果が大きかったと思う。これからも子ども達に語り部となり聞かせ続けられたいと思っております。

今回の冊子は地域全戸に配布致しますが、この小冊子を読んでもらえればきっと自分の住んでいる土地には1,800年前もの昔、すでに多くの人々がすみかいていた。少人数や短期間では考えられない巨大遺構を築き自分達を強くアピールしている。凄い証が杉谷4号墳に残されている。この魅力に誇りを感じ先ず一度は見たいと思うのではないか。造った先人を尊敬しようとか、故郷を大切に想い文化財愛護の心も動くことであらう。

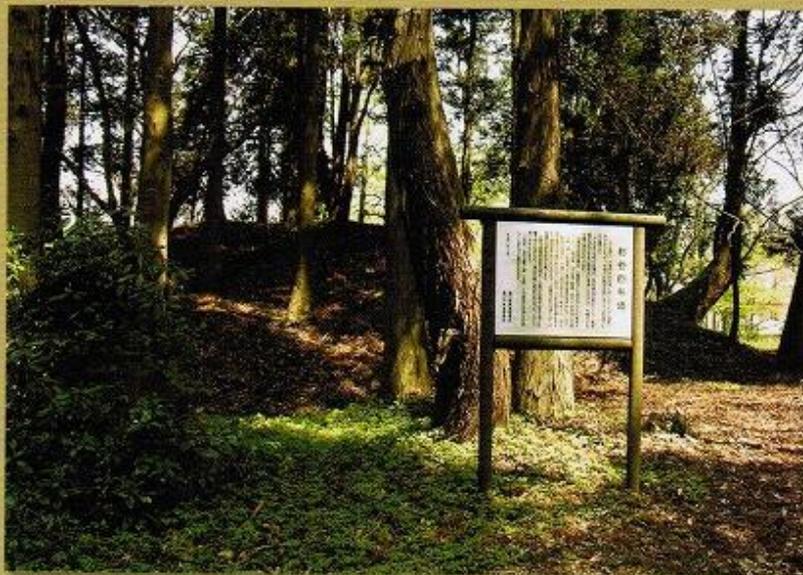
とにかく今は子供達といわず皆さんの学習の場にご利用され気軽にご見学くださる事をお待ちしております。

参考

『海を越えての交流—杉谷4号墳と四隅突出墳—』表紙

日本海学研究グループ支援事業助成図書

海を越えての交流 — 杉谷4号墳と四隅突出墳 —



杉谷4号墳

2009年3月

古沢校下ふるさとづくり推進協議会